

2023(令和 5)年度 事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構

1 事業の総括

2023 年度は、5 月に「新型コロナウイルス感染症」の感染症法上の分類が季節性インフルエンザと同じ 5 類に引き下げられたことによって、市民活動を含め各種活動が活性化された年でした。市民活動推進センター・プラザむつあいの年間利用者数は前年比 1,940 増加の 26,796 人となり、2019 年度の 30,992 人までは到達していないものの、両支援施設とも賑わいが戻ってきたと強く実感しています。支援施設外でも、「藤沢市民まつり・藤沢駅前会場」や高校での「NPO 見本市」実施をはじめとする人同士が接触する活動の再開も進み、イベントの実施・参加・参画とイベントを通じた市民活動の広報ができました。

データから見ても明らかで、例えば「(2)ーイ市民活動・社会貢献活動に関する調査」事業で実施した「2023(令和 5)年度市民活動団体の活動状況調査」では、調査対象の団体(藤沢市市民活動支援施設登録団体及び藤沢市内に主な事務所を置く団体)に参加する「ボランティア年間延べ人数」の団体平均は 139.3 人(2021 年)から 246.4 人(2023 年)へと倍近く増加しています。また、同調査の「支援施設を利用しない・利用しなくなった理由」として「新型コロナを避けるため」と回答した団体は、30.9%(2021 年)から 5.3%(2023 年)へと激減しました。私たちが支援させている団体の活動も、概ね新型コロナ前の水準にまで回復していると言えるでしょう。

継続的に活動を行っている「市民活動支援施設管理運営事業」では、新しく第 5 期となりました。第 5 期 1 年目に当たる今年は、「気づき」をテーマに、団体の存在感を出すための「発信力を強化する講座」の開催や、市民にとって手の取りやすい「年度報告書」等の作成を行いました。

また、今年度からは新規で「かながわ水産業福祉連携推進事業」が神奈川県との協働でスタートしました。水産業と福祉とをつなぐことで、水産業での人手不足問題の解消と、障がい者・高齢者・生活困窮者の就労・雇用機会の創出、「共生社会の実現」に向けた活動を支えることができました。

一方で、会計面では逼迫しています。当期正味財産増減額は約 130 万円赤字と、2 期連続の赤字となりました。収入は前年比で 1000 万円弱増加しましたが、支出も 1000 万円弱増加しており、財政面の改善が課題となっています。

2024 年度は SDGs の次の時代について検討を始める年と言われています。2023 年度の活動を継続しつつも、地域社会や世界全体の動向・ニーズを取り入れた「つなぐ・支える・うごく」活動へつなげていきます。

2 事業の内容

(1) 市民活動団体等の組織運営および活動支援に関する事業

ア 市民活動団体等への団体交流の場の提供

参加者同士のネットワークの促進を図った交流機会の提供として、「ワカモノ×地域 クリスマス交流会」や「NPO 見本市 in 藤沢総合高校」、プラザでの交流機会事業「プラザ de カフェ」、湘南台駅におけるパネル展示企画と連動した「パネル展示団体トークイベント」等、合計 17 回開催した。

- ① 日時 年間
- ② 場所 市民活動推進センター、市民活動プラザむつあい、六会公民館、オンライン、
湘南台駅地下ギャラリーコーナー、藤沢総合高等学校 他
- ③ 従事者人員 13 名
- ④ 受益対象者 市民活動団体関係者・興味のある市民

イ 市民活動団体等の活動における共通課題に関する研修会の開催

市民活動団体の活動における共通の課題について、「NPO がメディアを動かすプレスリリース」、「インボイス制度講座」、「資金調達講座」、プラザでの学習機会事業「プラザ de 学ぶ」等、活動支援関連講座を 10 回(オンライン・オフライン)で開催した。また、「らくらく Excel 講座」等、「らくらくホームページ作成講座」等 PC 関連講座を 13 回実施した。

- ① 日時 年間
- ② 場所 市民活動推進センター、市民活動プラザむつあい、六会公民館、オンライン
- ③ 従事者人員 10 名
- ④ 受益対象者 市民活動団体関係者・興味のある市民

ウ 地域版組織診断システムの運用

「組織診断ツール(自己診断シート「組織を支える 17 の視点」)」を活用した事業展開を進めるための機会を模索した。神奈川県内中間支援組織のネットワーク化する活動を行った。また、9月から11月にかけて千葉県船橋市の4団体を対象に本診断システムを実施した。

- ① 日時 年間
- ② 場所 神奈川県内中間支援施設、船橋市、ほか
- ③ 従事者人員 3名
- ④ 受益対象者 市民活動団体関係者、中間支援組織関係者

エ 市民活動団体等への財政支援による組織基盤強化事業

市民活動の財政的支援を目的に、クラウドファンディングサイト「CAMPFIRE」での運営サポートを行い、1,655,500円の資金調達を支援した。

アフターコロナで、兼ねてより実現したいと考えていた事業やイベントに乗り出すといった動きが様々な分野で見られた年となった。その影響もあり、地域内や地域間のコミュニティ同士で協力して新たなものをつくるプロジェクトの支援を行った。支援総額は昨年度に比べ86.9%アップという成果となった。

参考:FAAVO 湘南支援プロジェクト内訳

起案者	支援金額	達成率	支援者	開始	期限
一般社団法人 Telacoya921	1,353,500 円	90%	165 人	2023/ 5/7	2023/6/18
二宮専徳の会	302,000 円	67%	62 人	2023/11/1	2024/1/13

- ① 日時 年間
- ② 場所 支援団体の活動場所および事務所
- ③ 従事者人員 3名
- ④ 受益対象者 市民活動団体関係者、またその支援者、関心のある市民

オ 災害復興活動団体への支援事業

令和 6 年能登半島地震被災地支援のため、募金活動等の災害復興支援事業を実施した。1 月 27 日・28 日には市民活動支援施設サポーターや市内団体に協力を呼びかけ、街頭募金活動を行った。別途設置した募金箱と合わせて、集めた募金 34 万 6997 円を公益財団法人 ほくりくみらい基金へ寄附した。

- ① 日時 年間
- ② 場所 市民活動推進センター、市民活動プラザむつあい、藤沢駅ほか
- ③ 従事者人員 4 名
- ④ 受益対象者 被災地で活動している市民活動団体等

カ 市民活動団体等への事業継承支援事業

これからの市民活動は、必然的に世代交代や後継者を内部で探すことに限界を迎えてくると考え、事業承継に取り組むスキームを構築すべくマッチングプラットフォーム「relay(リレイ) (※)」のパートナーとして参画することで、ここで得たノウハウを市民活動へ還元できることを目指している。今年度は体制づくりと周知のための情報収集を行った。

※後継者募集企業と継業希望者をつなぐ仕組み。「誰が」「どこで」「どんな事業の」後継者を募集しているか公開し、共感をベースにしたオープンな事業承継体験を提案するウェブサイト

- ① 日時 年間
- ② 場所 法人事務所、藤沢市市民活動推進センター
- ③ 従事者人員 2 名
- ④ 受益対象者 市民活動団体

キ SAVE JAPAN プロジェクト(希少生物保護活動団体支援プロジェクト)

「損害保険ジャパン(株)(東京都)」と「(認定 NPO 法人)日本 NPO センター(東京都)」、全国各地の環境団体、中間支援団体の 4 者協働で、希少生物が生きやすい環境を作る活動を全国で展開している「Save Japan プロジェクト」。本事業は 10 月開始・9 月終了となっている。2021 年 10 月から、小田原市酒匂川左岸で野生のめだかの保全活動をしている「めだかサポーターの会」を、おだわら市民交流センター UMECO を運営している「(NPO 法人)市民活動を支える会」とともに支援しており、本年度も「めだかサポーターの会」の活動を支援した。

2023 年 8 月 20 日(日)にめだかの天敵となるアメリカザリガニの駆除活動を、同年 12 月 10 日(日)にめだか保全地域で包括的・継続的に活動をするグループ「メダカーズ 100」の発足式を実施した。それぞれ、110 人、40 人の方にご参加いただいた。

- ① 日時 年間
- ② 場所 支援団体の活動場所 他
- ③ 従事者人員 2 名
- ④ 受益対象者 公益的な市民活動を行っている団体と参加市民

ク 各種市民活動助成金審査会への参加協力

市民活動団体へ財政的支援を実施している組織へ、審査会等への参加、アドバイス等の協力を行った。

- ① 日時 年間
- ② 場所 助成組織の事務所他
- ③ 従事者人員 4 名
- ④ 受益対象者 各種助成組織 (※)

※参考:参加助成プログラム及び審査会等

(公財)かながわ生き活き市民基金 大和証券フェニックスジャパン・プログラム
中央ろうきん社会貢献基金
平塚市 綾瀬市 横浜市 相模原市 二宮町 鎌倉市 藤沢市

(2) 市民活動および市民活動支援に関する調査研究・情報発信事業

ア 関連情報の収集と発信事業

本年度は、市民活動促進に関する情報を 2,892 件(前年比 93.1%)収集し、ホームページやメールマガジン等、様々な媒体を活用し、7,772 件(前年比 96.0%)発信を行った。

- ① 日時 年間随時
- ② 場所 情報の届く範囲
- ③ 従事者人員 10 名
- ④ 受益対象者 市民活動に興味のある者

イ 市民活動・社会貢献活動に関する調査

(A) 市民活動団体の市民活動状況調査

「市民活動団体の市民活動状況調査」を、支援施設登録団体及び藤沢市内 NPO 法人計 496 団体を対象に実施した。「団体メンバーの高齢化が顕著になっており、70 代以上を中心とする団体が 45%を超えている」、「コロナ禍の影響もあり、団体でのオンライン会議や SNS での情報共有が定着しつつある一方、SNS で外部へと情報発信を行う割合や情報源としての SNS の割合は減少している」等が明らかとなった。

(B) 市民活動支援に関する研究

(一社)ソーシャルコーディネートかながわへの職員出向により、藤沢で培った市民活動支援のノウハウ移転や市民活動支援に関する研究を行った。

- ① 日時 (A)年間 (B)年間
- ② 場所 (A)藤沢市内
(B)かながわ県民活動サポートセンター9階アドバイザー相談窓口
- ③ 従事者人員 5 名
- ④ 受益対象者 市民活動に興味のある者

ウ 市民活動関連研修会への参加・出席・協力および視察受け入れ

外部で実施している市民活動支援力の向上に必要と思われる研修会等に年間 11 回(※1)参加した。また、内部で研修会を 3 回実施した。

視察受け入れは、韓国・保寧(ポリョン)市をはじめ、3 団体(※2)を受け入れた。

- | | |
|---------|-----------------------|
| ① 日時 | 年間随時 |
| ② 場所 | 藤沢市他 |
| ③ 従事者人員 | 30 名 |
| ④ 受益対象者 | スタッフ、市民、中間支援組織、行政、企業他 |

※1 参加研修会等

- | | |
|--------------|---|
| 5 月 4 日(木) | OJT だけでは身に付かない！NPO 基礎力が育つ「新任スタッフ研修」 |
| 7 月 2 日(日) | Recurrent Education Program 大人のためのデザイン思考入門
Guidance workshop |
| 7 月 3 日(月) | 被災者支援コーディネーター育成研修 |
| 9 月 14 日(木) | 中間支援スタッフ研修 協働のコーディネーターとしての中間支援～
「協力のテクノロジー」から学ぶ～ |
| 9 月 21 日(木) | 令和5年度「CEO ミーティング」 |
| 10 月 26 日(木) | SAVE JAPAN プロジェクト(2023-2024 発展期) キックオフミーティング |
| 10 月 26 日(木) | 学生コーディネーターズナイト |
| 10 月 30 日(月) | ボランティア活動支援施設 新任スタッフ研修会(2023 年度) |
| 10 月 31 日(火) | トヨタ NPO カレッジ「カイケツ」プログラム検証@東京 |
| 11 月 11 日(土) | NPO 法 25 周年第 14 回中間支援組織役職員向け合同研修 |
| 12 月 2 日(土) | 市民セクター全国会議 2023 |

※2 視察受け入れ団体等

- | | |
|--------------|---------------------------|
| 5 月 19 日(金) | 大韓民国保寧市訪問団(24 名) |
| 10 月 26 日(木) | 特定非営利活動法人まち×学生プロジェクト(6 名) |
| 2 月 11 日(日) | 武蔵村山市ボランティア・市民活動センター(5 名) |

エ 湘南 SDGs ネットワーク事業

11 月に障害者アートフェスティバル(Fujisawa メタパラダイス of Arts)を地域の音楽家やデザイナーなどと一緒に立ち上げ、神奈川県立藤沢支援学校の生徒や障害者のアート作品、カンボジアの障害児(NPO 法人エファジャパンの協力)の作品、全 200 作品以上を制作したメタバースワールドに展示し交流するイベントを行った。

また、「SDGs QUEST みらい甲子園神奈川県大会」の審査委員に藤沢市市民活動支援施設アドバイザーが参加し、高校生の SDGs アクションを支援した。

今年度から(一社)SDGs 市民社会ネットワークの地域ユニットに加盟し、「SDGs 取り組みに関する NPO・市民活動団体の全国調査」の調査委員として参加した。地域の NPO の取り組みについて調査研究や「全国フォーラム」の運営に関わった。また、2024 年 2 月からは地域ユニット幹事団体として全国の NPO 中間支援組織の代表の一つとなった。

- ① 日時 年間
- ② 場所 支援団体の活動場所等
- ③ 従事者人員 2 名
- ④ 受益対象者 一般市民、市民活動団体、地域活動に興味関心のある企業関係者等

(3) 市民活動を支援する施設の管理運営事業

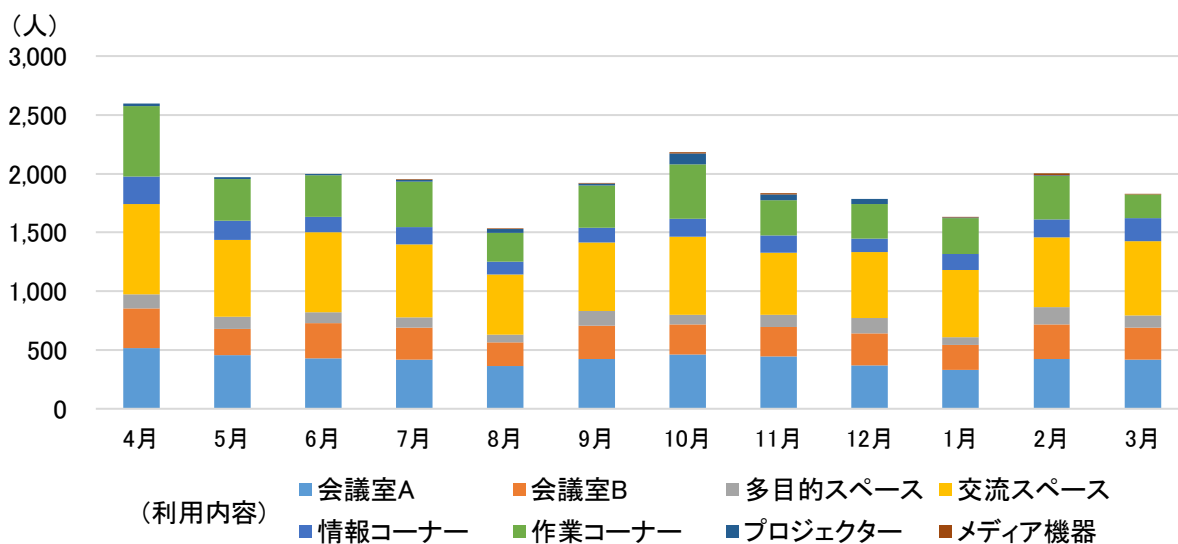
ア 市民活動支援施設管理運営事業

藤沢市の市民活動支援施設(A)藤沢市市民活動推進センター及び(B)藤沢市市民活動プラザむつあいの指定管理者として管理運営を行った。2023年4月1日から2028年3月31日までの5事業年度にわたり当団体が指定管理者に指定されており、今年度はその1年目(初年度)の管理運営となる。

(A) 藤沢市市民活動推進センターの管理運営

主な業務内容:施設管理業務・団体登録業務・会議室貸出・フロア管理・作業機材管理・ロッカー貸出・レターケース管理・活動団体データベースの作成・活動相談業務・サポートクラブの管理運営・掲示版・配架ラックの整理・行政との調整及び報告

グラフ 月別の市民活動推進センターの利用者数

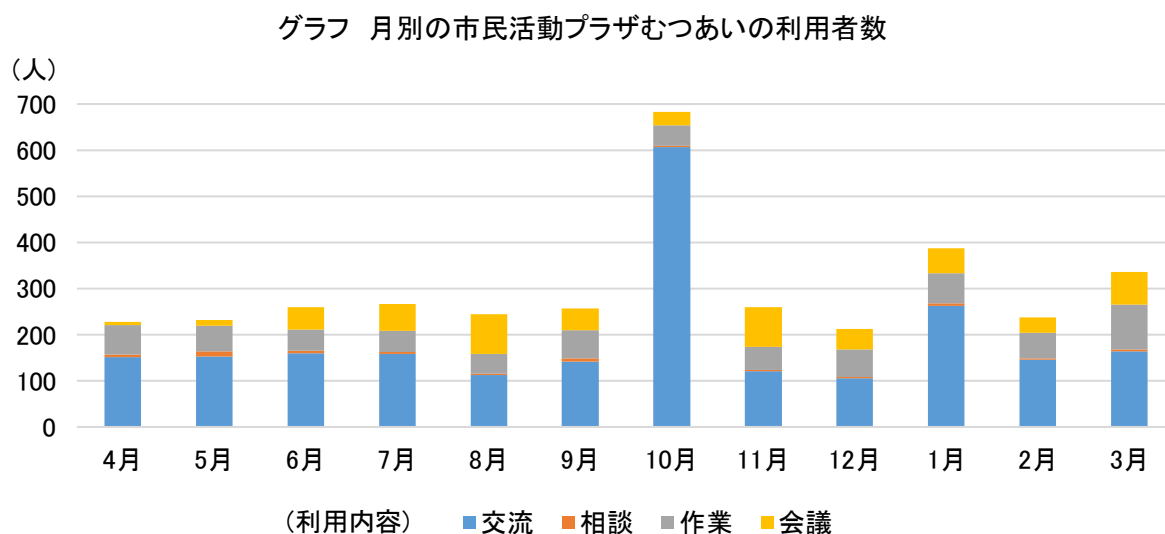


藤沢市市民活動推進センター利用者数及び件数 (カッコ内は前年度比)

年間延利用者数	: 23,248 人(1,965 人増)	1 日利用平均人数	: 75.48 人(6.38 人増)
年間利用件数	: 7,256 件(136 件増)	1 日利用平均件数	: 23.56 件(0.44 件増)

(B) 市民活動プラザむつあいの管理運営

業務内容は(A)同様、加えて六会市民センター会議室予約代行を実施した。



藤沢市市民活動プラザむつあい利用者数及び件数 (カッコ内は前年度比)

年間延利用者数	: 3,548 人(25 人減)	1 日利用平均人数	: 11.59 人(0.05 人減)
年間利用件数	: 1,507 件(124 件減)	1 日利用平均件数	: 4.92 件(0.39 件減)

- | | | |
|---------|-------------------------------|-----------------|
| ① 日時 | (A) 年間 | (B) 年間 |
| ② 場所 | (A) 市民活動推進センター | (B) 市民活動プラザむつあい |
| ③ 従事者人員 | (A) 17 名 | (B) 6 名 |
| ④ 受益対象者 | 公益的な市民活動を行っている、又は興味のある団体および個人 | |

イ シェアオフィス事業

当団体の事務所について、株式会社 1 団体、一般社団法人 1 団体、NPO 法人 2 団体とシェアして利用した。

- | | |
|---------|--------------------|
| ① 日時 | 年間 |
| ② 場所 | 藤沢市内 |
| ③ 従事者人員 | 2 名 |
| ④ 受益対象者 | 団体（営利・非営利問わず）および市民 |

(4) 市民活動の普及啓発および推進事業

ア イベント等プロデュース事業

本年度はオンラインのみならず対面でのイベントが増えてきており、各種イベント等の企画へ参画し、市民参加の推進を図った。ボランティアやインターン等、のべ 66 名に地域参加・参画の機会を提供した。

- ① 日時 年間
- ② 場所 藤沢市内および近隣
- ③ 従事者人員 3 名
- ④ 受益対象者 まちづくりに興味関心ある一般市民

参考:参画事業内訳

イベント名	期間	ボランティア 人数
藤沢おいしいものフェスティバル	2023 年 4 月 1 日(土) ・ 2 日(日)	8 名
	2023 年 10 月 7 日(土) ~ 9 日(月)	9 名
田園長後の朝市	2023 年 4 月 8 日(土)	4 名
	2023 年 6 月 10 日(土)	3 名
	2023 年 8 月 12 日(土)	4 名
	2023 年 9 月 30 日(土)	1 名
	2023 年 12 月 10 日(土)	3 名
	2024 年 2 月 10 日(土)	1 名
神社 de マルシェ	2023 年 11 月 26 日(日)	3 名
	2024 年 1 月 28 日(日)	3 名
	2024 年 3 月 24 日(日)	1 名
FUJISAWA SPORTS PARK	2023 年 9 月 2 日(土)	3 名
	2023 年 10 月 15 日(日)	1 名
	2024 年 3 月 2 日(土) ・ 3 日(日)	6 名
藤沢市民まつり 秋葉台会場	2023 年 9 月 23 日(土)	14 名
藤沢市民まつり 遊行寺会場 (旧東海道藤沢宿まちそだて隊ブース)	2023 年 9 月 30 日(土)	1 名
スマホ何でも相談窓口事業 ボランティア交流会	2024 年 2 月 19 日(月) ・ 24 日(土)	3 名
藤沢宿まつり	2024 年 3 月 1 日(金) ・ 2 日(土)	2 名
地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム成果発表会	2024 年 2 月 12 日(月)	6 名
トマトとピザと藤沢の話	2024 年 3 月 6 日(木)	1 名
日本語スピーチ大会 in 湘南台	2024 年 3 月 24 日(日)	1 名

イ サポートクラブの運営

一般市民の希望者に支援施設サポーターとして支援施設の運営支援等の活動に携わっていただいている。弊団体では、サポーターの集まりである「サポートクラブ」の運営管理や事務局運営を担った。

サポーターの皆さまには、IT 相談、F-wave の記事執筆、封入・発送準備、館内清掃・消毒、市民まつりブースの企画・運営、市役所及び湘南台駅地下・湘南台公民館での団体紹介パネル展示の設営・撤去、各種講座の実施・運営、利用票やアンケートのデータ入力など、多岐にわたる内容のご協力を頂いた。

また、サポーター同士の交流機会を兼ねた「サポートクラブ運営ミーティング」を開催(月 1 回)、サポーター向け情報誌「サポートクラブレター」を発行(月 1 回)した。

※サポーター199 名(加入:22 名、脱退:4 名)、アドバイザー26 名(加入:1 名)、2024 年 3 月 31 日現在

- ① 日時 年間
- ② 場所 藤沢市内
- ③ 従事者人員 3 名
- ④ 受益対象者 市民活動を行っている、又は行おうとする市民

ウ ボランティアやインターンの積極的な受入および受入協力団体の育成事業

一般市民の市民活動参加意識の促進を目的として、A.「地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム 2023」を行った。また、前年に引き続き、B. 藤沢市市民活動推進センター等でのインターン受入事業を実施した。

(A)「地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム 2023」の事務局運営

高校生・大学生・専門学生・大学院生からインターン生(※1)を募集し、約 7 か月間継続的に責任を持って NPO の活動に参加するインターン生 11 名に対して、活動奨励金を助成した。

この経験を通じて、将来地域で行う公益的市民活動を担う人材が育成されること、そして地域の NPO(※2)における組織基盤の強化が進むことを期待して実施した。なお、本年度は藤沢市市民活動推進センター協力のもと事業を実施し、オンラインと対面のハイブリッド型にて行った。

※1 高校生:50 時間以上(上限 80 時間)、ワカモノ:60 時間以上(上限 100 時間)

※2 本プログラムにおける受入協力団体は以下の通り(計 10 団体)

(認 N)まちづくりスポット茅ヶ崎 (認 N)藤沢市市民活動推進機構 (N)横須賀創造空間

(N)藤沢サンクチュアリ (N)幼児武道教育振興会 (N)さんわーくかぐや (N)ふじさわ救命普及推進会

(N)アズヴェール藤沢スポーツクラブ 障がいのアナ おととき♪

(B) 藤沢市市民活動推進センター等でのインターン受入事業

市民活動推進センターにて、インターンの受け入れを行った。

※受入れ就労移行支援事業所等

LITALICO ワークス :10 名

ミラトレ藤沢(パーソルチャレンジ株式会社就労移行支援事業所) :26 名 (のべ人数)

横浜若者サポートステーション :1 名

藤沢市就労準備支援事業共同事業体 :1 名

- ① 日時 (A) 2023 年 8 月～2024 年 2 月 (B) 年間
- ② 場所 市民活動推進センター、市民活動プラザむつあい、各団体の活動場所等
- ③ 従事者人員 13 名
- ④ 受益対象者 市民活動団体関係者・興味のある市民

LITALICO ワークス:10 名

ミラトレ藤沢(パーソルチャレンジ株式会社就労移行支援事業所):26 名 (のべ人数)

横浜若者サポートステーション:1 名

藤沢市就労準備支援事業共同事業体:1 名

エ 社会貢献活動の推進および支援事業

社会の利益に資する活動をするものに対し研修事業等の支援を目的に、「六会人材センター運営事業※」を実施した。地域への活動への理解と協力をさらに拡げる活動を行った。

実績:依頼案件9件、マッチング 11 件(うち不成立 2 件含む)、派遣延べ人数 139 名

※地域の中の課題を共に考え、困りごとを地域の人たちの協力により解決策を探り進める ことで、地域市民の交流を図り市民意識の活性を目指す活動。

- ① 日時 年間
- ② 場所 藤沢市内
- ③ 従事者人員 3 名
- ④ 受益対象者 社会貢献活動を行うもの、又は行おうとするもの

オ 農福連携マッチング等支援事業

障がい者の就労機会の確保・工賃向上、農業の担い手の確保という課題解決のために農福連携の推進が必要であることから、神奈川県は地域の中間支援組織と協働で、2020 年度～2022 年度の 3 年間、市民ボランティアである農福連携コーディネーター（以下、コーディネーター）養成をはじめとしたマッチング事業を、モデル地区の藤沢、平塚、秦野で実施している。藤沢地区においては当団体が本事業を担っている。

2023 年度からは、藤沢市のみならず、JA さがみ管轄の 8 市町に対象を広げて、就農体験会を実施した。

農福マッチングは、コーディネーターの派遣によるものも含め、7 件成立した。

尚、養成関連講座（三期生）は別途自主事業（かながわコミュニティカレッジ連携講座）として実施し、4 名がコーディネーターとして登録、累計の登録者は 20 名となった。

- ① 日時 年間
- ② 場所 藤沢市役所、ぬくもり畑、ゆうファーム、8 市町の農地、福祉事業所
- ③ 従事者人員 2 名
- ④ 受益対象者 農福連携に興味関心のある農家及び福祉作業所（利用者）、一般市民等

カ かながわ水産業福祉連携推進事業

水産業の担い手の確保、及び障がい者・高齢者・生活困窮者の就労・雇用機会の創出という課題を解決するため、水産業・福祉双方のニーズに付加価値をつけて担い手の定着化を促進し、漁村地域のコミュニティの活性化を図る事を目的とした、研修、アドバイザー派遣、水産業と福祉事業所とのマッチング事業を行った。

研修は、一般向けを 2 回、水産業者向けを 1 回、開催した。アドバイザー派遣は 2 回。マッチングは、場づくりを 8 回、福祉事業所スタッフ向け水産業技術支援 10 回、現場体験 13 回、開催し、マッチング成立は 9 件だった。

- ① 日時 年間
- ② 場所 藤沢市内および藤沢市以東の神奈川県地域
- ③ 従事者人員 4 名
- ④ 受益対象者 水産業者、福祉事業者、一般市民等

キ 関連委員会、審議会への参加

市民活動の理解を促進することを目的に、各種市民活動関連委員会・審議会に参加・協力した。

- ① 日時 年間
- ② 場所 会議等開催場所
- ③ 従事者人員 6 名
- ④ 受益対象者 各種委員会・審議会等（※）

※参考：参加委員会・審査会等

全国	民間 NPO 支援センター・将来を展望する会 「新型コロナウイルス」NPO 支援組織社会連帯 (CIS) ICT 支援者ネットワークミーティング 一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク 事業ユニット幹事会議 同 事業業ユニット幹事 チーム5「国連未来サミットおよび国際連携」 同 地域ユニット会議 同 地域ユニット＜SDGs 達成に向けた NPO のための調査研究と 研修開発事業＞プロジェクト推進委員会
神奈川県	神奈川県支援施設 CEO ミーティング 神奈川県内認定・指定ゆるやかなネットワーク かながわ人生 100 歳時代ネットワーク会議 神奈川県ともいきアドバイザー会議 かながわ福祉移動サービスネットワーク
藤沢市	藤沢市市民活動推進委員会 藤沢市シティプロモーション委員会 藤沢市情報公開制度運営審議会 藤沢市生涯学習大学評議会 藤沢市ワークライフバランス会議 (公財)藤沢市まちづくり協会評議員会議 湘南東部地区福祉有償運送市町共同運営協議会 藤沢市生涯学習推進委員会 藤沢市社会教育委員会 藤沢市青少年育成委員会 六会地区郷土づくり推進会議 藤沢市民まつり実行委員会 藤沢市部活動地域移行推進協議会 藤沢災害救援ボランティアネットワーク
他市町村等	横須賀市市民協働審議会 綾瀬市市民活動推進委員会 逗子市市民協働等推進懇話会 二宮町町民活動推進委員会 新宿区市民協働サポーター会議

(5) 市民参加によるまちづくり推進事業

ア 多様なセクターの協働によるまちづくり推進事業

個人・非営利組織等をはじめ組織を問わず、社会の利益に資する活動をするものの仲介(コーディネーション)を実施することで協働を推進し、まちづくりの推進に寄与した。「協働コーディネーター」を2名設置し、市民活動団体と様々な主体が相互に協調・連携して地域課題の解決への取り組みができるよう、コーディネーションを行った。協力先の開拓、団体のマッチングと調整、団体への現地視察等によるアドバイス等を行い、延べ59件となった。

ミライカナエル活動サポート事業の協働コースに係る事前相談・選考・審査の支援を行った。

企業との相談・アドバイスを行った。片瀬地区の店舗の休館日を地域活用し子どもたちの居場所づくりにつなげる事ができた。(株)伊藤園とのチャリティベンダー(社会貢献 型自動販売機)設置サポートは継続して行っている。

定期的に藤沢市社会福祉協議会とのミーティング等を実施した。情報共有のほか、共同イベントや相談案件の対応協力等を行った。

- ① 日時 年間
- ② 場所 藤沢市役所、市民活動推進センター、市民活動プラザむつあい他
- ③ 従事者人員 8名
- ④ 受益対象者 社会貢献活動を行うもの、又は行おうとするもの

イ イベント参加支援事業

他セクターとの協働を促進し、市民活動の普及を図ることを目的に、藤沢市内でのイベントを中心に参加支援を行った。昨年度に引き続き、藤沢市民まつりなどへの参画及び、場の提供を考えている企業(有隣堂、藤沢駅周辺地区エリアマネジメントなど)に市民活動団体のべ6団体のコーディネートを実施した。

- ① 日時 年間
- ② 場所 藤沢市内および近隣
- ③ 従事者人員 2名
- ④ 受益対象者 市民活動団体およびその関係

ウ 地域資源活用事業

藤沢市内各所に点在する空き家や、企業の事務所及び展示場の空スペース等の地域資源の地域活動への活用(場の提供)として、ネコサポステーション FujisawaSST 店(ヤマトホールディングス)の空スペースの利用支援(NPO や市民活動団体への活動場所としての案内)の活動を支援した。また、同様の支援を広げるために、新たな地域資源の発掘の調査活動を実施した。

- ① 日時 年間
- ② 場所 団体事務所等
- ③ 従事者人員 2 名
- ④ 受益対象者 一般市民、公益的な市民活動を行っている団体、地域活動に興味関心のある
企業関係者等

3 その他

ア 会議等の開催

理事会	4 月 30 日(日)	オンライン及び市民活動推進センター
	6 月 10 日(土)	オンライン及び市民活動推進センター
	3 月 20 日(水)	オンライン及び市民活動推進センター
通常総会	6 月 17 日(土)	オンライン及び市民活動推進センター